

2017 年 11 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2017 年度（自 2016 年 10 月 1 日 至 2017 年 9 月 30 日）第 2 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2017 年 9 月 5 日（火） 15：00～18：40

☐開催場所 ステーションコンファレンス東京 402 CD

☐理事総数 25 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 23 名

☐出席監事数 4 名

☐出席理事の氏名

渡邊昌彦（理事長）、明樂重夫、池田徳彦、猪股雅史、岩崎昭憲、岩中 督、大須賀穰、小澤壯治、笠間和典、金山博臣、北川雄光、坂井義治、塩田 充、徳村弘実、中村雅史、橋爪 誠、羽渕友則、藤澤正人、森 俊幸、森川利昭、山口茂樹、山高篤行、若林 剛

☐出席監事の氏名

黒川良望、松田公志、万代恭嗣、山下裕一

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

渡邊昌彦

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、定款第 41 条に基づき渡邊昌彦理事長が議長席につき、開会を宣し、本日の理事会の開催及び議決に必要な定款上の定足数を確保し、本理事会が適法に成立した旨を告げ、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 審議事項

1) 総務委員会（藤澤正人委員長）

- ・2017年度名誉会長、名誉会員、特別会員推戴者について報告がなされ、承認された。
- ・庶務報告 会員数13,849名(2017年8月25日時点)
- ・未納督促者について報告がなされ、知り合いの先生がいる場合には連絡していただくようお願いがなされた。
また、督促対象者リストについて、知り合いの先生を確認しやすいように、地区別に提示する方向にて総務委員会で検討することとした。
- ・技術認定取得者の会費未納の処置についても、今後技術認定制度委員会を中心に検討すべきであるとの意見が出された。

2) 国際委員会(中村雅史委員長)

- ・2018年度国際名誉会員選考について、以下3名の候補者に決定したことが報告され、承認された。
 - ▶ Alfred Allen E. Buenafe 先生(Batangas Regional Hospital) フィリピン
 - ▶ George Whitfield Holcomb Ⅲ 先生(Children's Mercy Hospital) 米国
 - ▶ Tonia M. Young-Fadok 先生(Mayo Clinic) 米国

3) 評議員選考委員会(塩田充委員長)

- ・河野匡副委員長の就任および三股浩光委員、家入里志委員の新任が報告された。
- ・2017年度の評議員選考結果について、別紙のとおり昨年度評議員の資格を喪失した2名を含む、申請者79名全員の合格が報告され、承認された。
- ・評議員の資格を喪失した会員の再申請について、再申請のタイミングや条件等の規定を、規約委員会を中心に今後検討していくことが確認された。
- ・評議員の社員総会出欠管理について、評議員本人が出欠状況を確認しやすいよう電子データで管理し、オンライン上で閲覧できる仕組み構築を進めていることが説明された。
- ・医師以外の会員が評議員となる可能性を問われたことに対し、現在検討中であり、規約委員会にて継続審議とすることが報告された。

4) 大上賞選考委員会(渡邊昌彦委員長)

- ・出沢明委員の退任および北川雄光副委員長の就任、池田徳彦委員の新任と併せて、岩崎昭憲次期会長の委員就任が報告された。
- ・第10回(2017年度)大上賞について、大阪赤十字病院消化器外科の金谷誠一郎先生の受賞が承認された。

5) 出月賞選考委員会(大須賀穰委員長)

- ・第20回(2017年度)出月賞について、長岡中央総合病院消化器病センター外科の西村淳先生の受賞が承認された。

6) 規約委員会(徳村弘実委員長)

- ・前回4月の理事会にて承認された理事の任期および定年制の延長について、規約委員会で継続審議が行われ、理事だけでなく評議員の任期および定年制も延長した方が整合性が取れるのではないか、との意見が多く出されたことが報告された。

議論の結果、理事の任期は3期から4期へ延長、評議員の定年制は65歳から67歳に延長することが承認され、これらに係る定款、特別会員、名誉会員及び国際名誉会員に関する規則および評議員選出規則の改定案も承認された。併せて、本改定案を12月の社員総会で諮ることが確認された。

7) ロボット支援手術検討委員会（橋爪誠担当理事）

- ・保険適応外ロボット支援手術の前向きレジストリー制度導入について、プロトコル案の作成方針が報告、承認され、倫理・渉外委員会で審査していくことが確認された。8領域（胃・食道・大腸・肝臓・脾臓・泌尿器・呼吸器・婦人科）11プロトコル案が回覧された。登録については「手術前登録」、「術後30日」、「術後90日」の3回とすること、項目については各領域のロボット支援手術の特殊性等を鑑みて詳細は各領域で検討することとし、基本事項を学会として合わせていくことが述べられた。
- ・前向きレジストリー制度のシステム構築費用の見積もり結果が報告され、継続して検討していくことが確認された。
- ・登録された症例データの取り扱いについて、閲覧や解析の権限、関連学会との連携等については事前に方針を明確にすべきとの意見がなされた。
- ・JSES主導によるシステム構築を進めていくが、将来的にNCDと連携できるように構築していくことが重要であることが確認された。
- ・「泌尿器科領域におけるda Vinci支援手術のガイドライン」の改定について報告され、承認された。
- ・新医療機器に関する見解、JSES内視鏡手術支援ロボット導入条件の遵守喚起、およびJSES内視鏡手術支援ロボット手術導入に関する提言について、現状に合わせるための変更案が提示され、承認された。

8) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・第29回学術集会収支決算および寄付金について報告がなされ、承認された。
- ・2018年度の予算案について報告がなされ、ロボット支援手術に関する前向き観察多施設共同研究システム運用に伴う事務局センター設置費の再精査、および第30回学術集会の収支を追加し改めて提示することが確認された。その他の2018年度予算が承認された。
- ・会誌出版費の支出が高額であることから、学会雑誌をオンラインジャーナルのみとすることについて、来年度に向け積極的に審議を進めていくことが報告された。費用の算出については財務委員会を中心に検討することとした。

3. 報告事項

1) 編集委員会

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（渡邊昌彦編集主幹）

- ・竹内裕也委員の新任が報告された。
- ・投稿状況が報告され、引き続き採用率が36.8%と厳しい状況であることが述べられた。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery（北野正剛編集主幹が欠席のため渡邊昌彦理事長より代理報告）

- ・4月28日にTask Force会議が開催され、引用数の増加やOriginal Articleの投稿数増加、レ

ビューアーの評価等について議論されたことが報告された。

- ・ IF 取得に向け、他誌への論文投稿の際に、引き続き ASSES を引用いただきたい旨、協力をお願いがなされた。

2) 教育委員会（山口茂樹委員長）

- ・ 領域ごとに担当理事、コア委員を設置する委員構成が報告された。
- ・ 第 22 回教育セミナー（第 30 回総会時）の内容が報告された。
- ・ 内視鏡下縫合・結紮手技講習会は来年度も 12 回開催する予定であること、また、来年度以降、神戸会場の備品費用が値上がりすることが説明された。
- ・ 公認研究会および後援講習会について、公認研究会の各活動状況を見直すこと、各研究会・講習会の審査基準を明文化し、今後は委員会全体で審議していくことが述べられた。
- ・ 内視鏡外科修練の現状調査研究について、北海道大学からの申し出を受け、共同で内視鏡外科医の現状を調査すること、今後の研究、論文文化に向け、倫理審査委員会を通して調査研究を進めていくことが説明された。
- ・ トレーニングシステム構築について、担当理事を中心に、各領域の要望を挙げ、今後の教育計画を練っていくこと、また各領域でテキスト作成を検討していることが報告された。併せて山口委員長が行った学会参加者へのアンケート報告がなされ、大腸領域で試験的に導入していくことが報告された。

3) 学術委員会（猪股雅史委員長）

- ・ 第 14 回内視鏡外科手術に関するアンケート調査の実施に向けた準備を進めていること、2018 年 1 月にアンケートを発送予定であること、また第 31 回日本内視鏡外科学会総会で結果を報告予定であることが報告された。
 - ・ 第 12 回の内視鏡外科手術アンケート調査の英論文が本年 11 月に ASSES 掲載予定であること、また第 13 回の内視鏡外科アンケート調査は現在論文作成中であることが述べられた。併せて、本アンケート調査は和文誌だけでなく、英文化し、順に ASSES ヘスペシャルレポートとして掲載していくことが説明された。
 - ・ NCD 研究課題について、各研究の進捗が報告された。併せて、2013 年度申請「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討 NCD による前向き調査研究」が先週、「Gastric Cancer」に採択されたことが報告された。
 - ・ 消化器外科データベース関連学会協議会においては、データ登録と audit について議論しており、主に肝臓と膵臓の前向き登録が安全に行われているか、どのくらい登録されているかを JSES 側として参加し情報共有をしていることが報告された。
 - ・ 「第 20 回消化器外科データベース関連学会協議会」、「第 4 回 NCD 特定術式データ品質管理協議会」へ学術委員会委員長として出席したことが報告された。
- 併せて、消化器外科データベース関連学会協議会には、JSES として、情報共有、データベース構築、集積データ利活用の 3 点から参画していくことが報告され、協議会の分担金負担が承認された。

4) 保険委員会（森俊幸委員長）

- ・ 大野芳正委員の新任が報告された。

- ・平成 30 年度診療報酬改定に向け、外保連試案にロボット支援直腸手術とロボット支援食道手術を登録していることについて、プレス懇談会と厚労省との聴聞会へ参加したことが報告された。併せて、低価格で保険収載された場合に、各医療施設にダメージがなるべく少なくなるようにインテュイティブサージカル合同会社に消耗品の値下げや使用回数の緩和といった交渉を始めていることが述べられた。

5) ガイドライン委員会（中村雅史副委員長）

- ・5月20日に開催されたガイドライン委員会説明会において、痔臓領域をモデルに Minds の GRADE システムに基づいた改定作業の進め方を確認したことが報告された。
 - ・説明会で検討事項として挙げられた費用負担については、文献検索において泌尿器領域も含め、学会負担とすることが承認された。
- また、現在改定中のガイドラインでは、原則、保険収載されたものと先進医療で認められているものを対象術式とすることとなっていたが、今後保険収載される見込の術式を対象に含むべきという意見が出され、各領域で掲載対象とする術式があるか今一度検討し、最終的にガイドライン委員会で対象術式を決定することとされた。

6) 広報委員会（明樂重夫委員長）

- ・西松寛明委員の退任および、大森一生委員、福永哲委員の新任が報告された。
 - ・NewsLetter 26 号の発行および NewsLetter 27 号の執筆内容について報告がなされた。
- 併せて、2013 年度 NCD 研究が論文化されたとの学術委員会報告を受け、27 号へ同研究紹介を掲載する予定であること、今後の掲載案についても説明がなされた。

7) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・医療事故調査外部委員派遣および専門分析部派遣要請に協力したことが報告された。

8) 倫理・渉外委員会（羽瀧友則委員長）

- ・ロボット支援手術のレジストリー研究をはじめとした、JSES が主体となる研究に対する倫理審査に向け、下部組織として外部委員を含む倫理審査委員会を設置すること、10 月に第 1 回の倫理審査委員会を開催し、ロボット支援手術レジストリー研究の審査を予定していることが報告された。
- 併せて、審査対象となる研究については、学術委員会で決定することとし、倫理・渉外委員会、倫理審査委員会へ連携していくことが確認された。
- ・これまでと同様に技術認定取得者に鑑定依頼に対する受託意思を確認し、鑑定人リストを管理していることが述べられた。
 - ・「第 3 回研究倫理教育研修会」に山高篤行理事に代理出席いただいたことが報告された。

9) 用語集改訂委員会（羽瀧友則委員長）

- ・新体制について報告がなされた。
- ・既に公開されている用語集検索ページについて、会員の要望や追加用語を受け付けられるような機能追加を検討していることが説明された。

10) 技術認定制度委員会（坂井義治委員長）

- ・瀬戸泰之委員の新任が報告された。
- ・2016 年度消化器・一般外科 / 小児外科領域技術認定新規合格者および 2017 年度泌尿器科領域、産科婦人科領域、整形外科領域技術認定申請更新者・新規合格者が通信審議にて承認されたことが報告された。
- ・5 月 29 日開催の技術認定制度委員会にて、2018 年 4 月から始まる専門医制度における技術認定制度のあり方について、各領域、学会の情報共有を行ったことが報告された。

11) COI 委員会（山高篤行委員長）

- ・2016 年度および 2017 年度の COI 申告書を事務局にて取りまとめていることが報告された。
- ・日本医学会の COI ガイドラインが 2017 年 3 月に改定されたことに伴い、JSES の方針を検討し、次回 12 月の理事会で報告する予定であることが述べられた。

12) 医工学連携委員会（森川利昭委員長）

- ・出浦伊万里委員の新任が報告された。
- ・第 30 回総会医工連携企画について、近畿経済産業局との共同事業を行うこと、また特許庁の協力の下、JSES 会員へ向けた知財の意識調査を行っていくことが報告された。併せて同意識調査について協力のお願いがなされた。
- ・医工連携企画に関する第 29 回総会の収支報告および第 30 回総会の予算報告がなされた。財務委員会より、今後のあり方として学会の事業であるという観点から、学会の会計に組み入れて管理するという意見が出された。

13) メディカル・チーム検討委員会（岩崎昭憲委員長）

- ・奥芝俊一副委員長の就任が報告された。
- ・来年の発刊に向け、メディカルスタッフマニュアルの改定作業中であることが報告された。

14) E ラーニング検討委員会（池田徳彦委員長）

- ・E ラーニングのコンテンツ内容について、教育委員会、技術認定制度委員会、専門医制度検討委員会および学術委員会へ意見を伺い、教育セミナーの講演ビデオ配信の他、ナショナルサーベイにおけるトレンド紹介や NCD 研究論文の閲覧等の意見が出たことが報告された。
- ・まずは本年 12 月に開催の教育セミナーの講演ビデオ配信について、検討していくことが述べられた。

15) 将来構想委員会（渡邊昌彦委員長）

- ・井上晴洋委員、奥田準二委員、白石武史委員、長谷川博俊委員の退任および坂井義治委員、瀧口修司委員、竹政伊知朗委員、内藤剛委員の新任が報告された。
- ・6 月 21 日開催の将来構想委員会について、技術認定制度のあり方や評議員の選出方法について等議論したこと、今後は関連委員会や理事会と連携し、継続して議論を進めていくことが説明された。

16) 専門医制度検討委員会（北川雄光委員長）

- ・2018年4月から始まる専門医制度について、10月1日より登録が開始されること、大きな変化としてサブスペシャリティ領域が全てカリキュラム制になる可能性が高いこと等が報告された。

併せて、専門医制度での技術認定制度の位置づけについて、技術認定制度委員会および将来構想委員会を中心に議論を進めていただくよう述べられた。

17) 第30回総会準備報告（坂井義治会長）

- ・プログラム作成への協力に対し感謝の意が表された。
- ・現在のプログラム案が報告された。上級演題が約300題、公募演題が約2,800題集まり、現在採択を進めていることが併せて述べられた。
- ・第30回総会では会員懇親会の開催はなしとし、代わりの企画を検討していることが報告された。
- ・第3回医工連携企画として、実行委員会を中心に6つのプログラムを企画していることが説明された。
- ・総会参加登録については、10月初旬より11月中旬まで事前参加登録を行う予定であること、学会HP上でも案内を掲載していくことが報告された。
- ・本総会の企画として歴代総会の資料をまとめていることが述べられ、資料提供協力のお願いがなされた。

18) 第31回総会準備報告（岩崎昭憲次期会長）

- ・会期は2018年12月6日（木）～8日（土）、会場は福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリニンメッセ福岡を予定し、準備を進めていることが報告された。
- ・プログラム委員の先生方に、プログラムのアンケートをとり、現在集計中であることが報告された。

19) 第32回総会準備報告（小澤壯治次々期会長）

- ・会期は2019年12月5日（木）～12月7日（土）、会場はパシフィコ横浜、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、横浜ベイホテル東急を予定し、準備を進めていることが報告された。

20) 日本医学会・その他（渡邊昌彦理事長）

- ・日本医学会連合平成29年度定時総会にて、会長に門田守人先生が選出されたことが報告された。併せて会費徴収の件について例年通りの徴収額で日本医学会への支払いを進めていることが説明された。
- ・「医療機器ガイドライン活用セミナー」の後援名義申請および「第26回日本コンピュータ外科学会大会」の協賛依頼を受けた点が報告された。

21) 理事交代について

- ・渡邊聡明理事の退任が承認された。

続いて、2017年12月の社員総会時に交代する理事について以下のとおり推薦され、承認された。

退任：

徳村弘実理事

森川利昭理事

新任：

宇山一朗評議員

内藤剛評議員

中村廣繁評議員

22) その他

- ・ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業」について、伊藤雅昭評議員の研究開発課題「内視鏡外科手術における暗黙知のデータベース構築と次世代医療機器開発への応用」への JSES との共同研究の申し出に対し、学術委員会、倫理・渉外委員会を中心に連携していくことが承認された。
- ・ 笠間和典理事より、北野正剛名誉理事長が Honorary President を、笠間和典理事が Congress President を務められる the Congress of the Asia Pacific Metabolic and Bariatric Surgery Society (APMBSS) 2018 の開催について紹介がなされた。

以上

(別紙)

青松 直揆 (社会医療法人生長会府中病院)	清水 哲 (鳥取県立中央病院外科)
秋田 英俊 (安城更生病院泌尿器科)	杉山 陽一 (JA 広島総合病院消化管外科)
安部 哲也 (愛知県がんセンター中央病院消化器外科)	鈴木 善典 (国家公務員共済組合連合会斗南病院)
荒川 敏 (藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院消化器外科)	進 誠也 (医療法人光晴会病院)
石井 良幸 (北里大学北里研究所病院)	添田 暢俊 (福島県立医科大学会津医療センター外科)
石塚 満 (獨協医科大学第二外科)	高橋 玄 (順天堂大学下部消化管外科)
井谷 史嗣 (広島市立広島市民病院外科)	田上 創一 (横浜青葉そけいヘルニア・外科クリニック)
井出 義人 (八尾市立病院外科)	高山 祐一 (大垣市民病院)
稲田 涼 (高知医療センター消化器外科一般外科)	田中 毅 (虎の門病院消化器外科)
井上 隆 (奈良県立医科大学附属病院消化器・総合外科)	田中 穰 (済生会松阪総合病院外科)
今村 清隆 (手稲溪仁会病院外科)	田中 芳憲 (景岳会南大阪病院外科)
上野 秀樹 (防衛医科大学校外科学講座)	千葉 斉一 (東京医科大学八王子医療センター消化器外科・移植外科)
植村 守 (国立病院機構大阪医療センター)	鶴田 雅士 (慶應義塾大学医学部外科学一般・消化器外科)
内田 広夫 (名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学)	鄭 充善 (大阪警察病院消化器外科)
江藤 正俊 (九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野)	鳥越 貴行 (産業医科大学第一外科)
岡野 美穂 (市立貝塚病院外科・消化器外科)	中島 晋 (社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院)
岡林 剛史 (慶應義塾大学医学部一般・消化器外科)	中条 哲浩 (鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科)
岡本 廣孝 (都留市立病院)	永野 浩昭 (山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座)
沖 英次 (九州大学大学院消化器・総合外科)	中原 雅浩 (JA 尾道総合病院外科・内視鏡外科)
荻野 利達 (九州労災病院)	中村 文隆 (医療法人手稲溪仁会病院)
奥田 準二 (大阪医科大学附属病院がんセンター)	野崎 功雄 (四国がんセンター消化器外科)
奥山 隆 (獨協医科大学越谷病院外科)	畑 啓昭 (国立病院機構京都医療センター外科)
加藤 健志 (国立病院機構大阪医療センター下部消化管外科)	原 賢康 (名古屋市立大学)
金治 新悟 (神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野)	播本 憲史 (群馬大学医学部附属病院)
金光 聖哲 (淀川キリスト教病院)	伴 大輔 (東京医科歯科大学肝胆脾外科学)
河内 明宏 (滋賀医科大学泌尿器科学講座)	久森 重夫 (京都大学医学部附属病院消化管外科)
川崎 誠康 (ペルランド総合病院)	平沼知加志 (福井県立病院)
河野 文彰 (宮崎大学医学部附属病院外科)	福澤 宏明 (兵庫県立こども病院外科)
清川 貴志 (帝京大学医学部外科)	藤原 有史 (大阪市立大学大学院消化器外科)
倉田 昌直 (筑波大学医学医療系消化器外科)	本郷 文弥 (京都府立医科大学泌尿器科学教室)
黒川 幸典 (大阪大学消化器外科)	水野 大 (岩手医科大学外科)
後藤 崇 (同心会古賀総合病院)	宮井 博隆 (豊田会刈谷豊田総合病院消化器・一般外科)
佐伯 浩司 (九州大学大学院外科分子治療学講座)	宮坂 義浩 (九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科)
櫻井 直 (東北大学病院移植・再建・内視鏡外科)	望月 響子 (神奈川県立こども医療センター一般外科)
佐藤 真輔 (静岡県立総合病院消化器外科)	山井 礼道 (高知赤十字病院第一外科)
塩見 明生 (静岡県立静岡がんセンター)	山口 智弘 (静岡県立静岡がんセンター大腸外科)
繁田 正信 (呉医療センター・中国がんセンター)	山本 達人 (都志見病院外科)
篠崎 浩治 (済生会宇都宮病院外科)	若杉 正樹 (近畿中央病院外科)
芝崎 秀儒 (さいたま赤十字病院外科)	渡邊 祐介 (手稲溪仁会病院)
島田 守 (医療法人彩樹豊中緑ヶ丘病院)	

※所属は2017年10月時点

2017 年度技術認定（泌尿器科領域）合格者

赤塚 純（日本医科大学付属病院）	内藤 整（山形大学附属病院）
天野 裕之（天野医院）	中里 武彦（昭和大学病院）
井上 享（公益財団法人がん研究会有明病院）	永松 弘孝（中津第一病院）
今里 祐之（佐世保市総合医療センター）	中山 治郎（市立豊中病院）
江浦瑠美子（国立成育医療研究センター）	西川 昌友（聖隷三方原病院）
大森 聡（岩手医科大学）	根来 宏光（京都大学大学院医学研究科）
小川 一栄（上尾中央総合病院）	波多野浩士（大阪国際がんセンター）
加藤 琢磨（香川大学）	濱田 彬弘（大津市民病院）
金岡 隆平（JA 尾道総合病院）	原 綾英（川崎医科大学）
神田 壮平（秋田大学医学部附属病院）	平井 健一（大分大学医学部附属病院）
木下 竜弥（箕面市立病院）	平尾 周也（医療法人桂会平尾病院）
木村 章嗣（東京慈恵会医科大学附属病院）	平山 貴博（北里大学病院）
熊谷 仁平（国立国際医療研究センター病院）	廣瀬 泰彦（JA 愛知厚生連海南病院）
剣木 崇文（東京都保健医療公社大久保病院）	福井 浩二（宝塚市立病院）
公平 直樹（静岡県立総合病院）	福原慎一郎（大阪大学大学院医学系研究科）
五島 悠介（千葉大学医学部附属病院）	福間 裕二（医療法人社団日高会日高病院）
小林 将貴（成田記念病院）	藤島 洋介（岩手県立中部病院）
駒井 好信（国立がん研究センター東病院）	布施 美樹（獨協医科大学病院排泄機能センター）
佐藤 雄一（福島県立医科大学附属病院）	古川 正隆（佐世保市総合医療センター）
佐藤 悠佑（東京大学医学部附属病院）	増井 仁彦（市立大津市民病院）
佐藤 竜太（大分赤十字病院）	松井 強（日本大学医学部附属板橋病院）
新海 信雄（札幌医科大学）	丸山 亮（新潟大学医歯学総合病院）
新坂 秀男（静岡がんセンター）	湊 晶規（産業医科大学）
関口 善吉（茅ヶ崎市立病院）	宮内 康行（香川大学医学部附属病院）
武内 在雄（九州大学病院）	宮崎 彰（兵庫県立淡路医療センター）
千葉 公嗣（神戸大学大学院医学研究科）	村上 洋嗣（熊本大学医学部附属病院）
月森 翔平（川崎医科大学附属病院）	森本 裕彦（焼津市立総合病院）
薦原 宏一（大阪急性期・総合医療センター）	柳澤 孝文（慈恵医大附属柏病院）
鶴田 雅史（指宿医療センター）	山下与企彦（市立宇和島病院）
道面 尚久（信州大学病院）	山田 徹（岐阜県総合医療センター）
戸邊 武蔵（医療法人社団三樹会病院）	吉澤 剛（日本大学医学部附属板橋病院）
富崎 一向（産業医科大学）	渡部 明彦（富山大学附属病院）

2017 年度技術認定（泌尿器科領域）更新者

飯島 和芳（長野市民病院）	杉元 幹史（香川大学）
五十嵐智博（彩の国東大宮メディカルセンター）	鈴木 一也（長岡赤十字病院）
伊藤 吉三（新都市病院）	田口 功（関西労災病院）
上田 康生（西宮市立中央病院）	忠地 一輝（岩手県立胆沢病院）
上原 慎也（川崎医科大学総合医療センター）	田中 浩之（六甲アイランド甲南病院）
大城 吉則（中部徳洲会病院）	中井 康友（大阪国際がんセンター）
大庭康司郎（長崎大学病院）	新倉 晋（富山労災病院）
加藤 智幸（山形大学）	濱崎 務（日本医科大学付属病院）
河村 好章（東海大学医学部付属病院）	藤本 宜正（独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院）
菊川 忠彦（愛媛大学医学部附属病院）	本郷 文弥（京都府立医科大学）
北見 一夫（藤沢市民病院）	麦谷 莊一（すずかけセントラル病院）
木藤 宏樹（JCHO 東京新宿メディカルセンター）	森實 修一（鳥取大学医学部附属病院）
雑賀 隆史（愛媛大学）	安士 正裕（獨協医科大学）
澤田 篤郎（京都大学医学部附属病院）	山崎 六志（大分大学）
塩見 誉（JCHO 東京新宿メディカルセンター）	渡部 淳（公立豊岡病院組合立豊岡病院）

2017 年度技術認定（産科婦人科領域）合格者

安達 聡介（新潟大学医歯学総合病院）	竹島 信宏（がん研究会有明病院）
安彦 郁（京都大学大学院医学研究科）	田中 誠治（練馬総合病院）
飯高満三芳（長野県立信州医療センター）	谷口 文紀（鳥取大学医学部附属病院）
池田 芳紀（名古屋大学医学部附属病院）	玉手 雅人（札幌医科大学）
伊藤 文武（京都府立医科大学附属病院）	遠武 孝祐（昭和大学江東豊洲病院）
稲垣美恵子（社会医療法人愛仁会千船病院）	中井 英勝（近畿大学医学部附属病院）
大上 健太（大阪府済生会千里病院）	長澤 邦彦（斗南病院）
大武 慧子（箕面市立病院）	仲村 勝（慶應義塾大学病院）
大西 賢人（国立国際医療研究センター）	中村 泰昭（帝京ちば総合医療センター）
岡田有紀子（横浜市立大学附属市民総合医療センター）	西村 和朗（産業医科大学病院）
尾上 昌世（日本生命済生会付属日生病院）	早坂 篤（仙台市立病院）
川上 浩介（国立病院機構小倉医療センター）	藤谷 真弓（市立豊中病院）
川西 智子（藤枝市立総合病院）	古野 敦子（横須賀共済病院）
香山 晋輔（大阪労災病院）	細川 有美（三楽病院）
児玉 順一（広島市立広島市民病院）	的田 眞紀（がん研究会有明病院）
齋藤 將也（日野市立病院）	満下 淳地（群馬大学医学部附属病院）
坂本 優（（公財）佐々木研究所附属杏雲堂病院）	宮本雄一郎（東京大学医学部附属病院）
塩島 聡（聖隷浜松病院）	村上 幸祐（近畿大学医学部附属病院）
関根 花栄（越谷市立病院）	森岡佐知子（奈良県立医科大学附属病院）
高松 士朗（近畿大学医学部附属病院）	山崎 友維（六甲アイランド甲南病院）

2017 年度技術認定（産科婦人科領域）更新者

江頭 活子（九州大学病院）	西岡 嘉宏（函館五稜郭病院）
大田 昌治（むさしのレディースクリニック）	野口 靖之（愛知医科大学）
岡 賢二（信州大学医学部附属病院）	長谷川明俊（川崎幸病院）
柴田 哲生（こまざわレディースクリニック）	別宮 史朗（徳島赤十字病院）
鈴木 隆弘（東海大学）	峯 克也（峯レディースクリニック）
高木香津子（愛媛大学医学部附属病院）	

2017 年度技術認定（整形外科領域）合格者

井上 泰一（自治医科大学）	小野孝一郎（日本鋼管病院脊椎外科センター）
---------------	-----------------------

※所属は 2017 年 10 月時点